

令和2年度 幸まちづくり協議会総会中止 のお知らせ

例年5月に総会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止という観点から、今年度の総会を书面議決で行います。



幸せの黄色いレシートキャンペーン

今回、2,300円相当の事務用品に使わせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

毎月11日に「マックスバリュ川井町店」で、買い物をされると黄色いレシートが発行されます。黄色いレシートを、「幸まちづくり協議会」のボックスに投函してください。

レシートが必要な方は幸公民館でコピーいたします。

金額の1%が還元されますので、ご協力をお願いします。



「いきいき体操」参加者募集！

日時：毎月第4月曜日 10:00～11:00

場所：幸公民館2階大会議室

※ただし、5月は中止(再開時はぜひご参加ください) 住部会



ラジオ体操



週一で、朝のラジオ体操に参加して、3年になります。当初は手足を動かす事で体操しているつもりでした。

しかし、それぞれの箇所での体の動きを教わる中で、結構ハードで機敏さを感じるようになりました。

教えられたように動かすと、あーっ体操しているといった感があります。体の動きを心掛けることで、今迄だらだらしていた体操も気分が切り替わったように爽やかさを感じるようになりました。

松田美智子

コロナウイルスの爆発迫る！！ 今、私たちができること

中国武漢市で発生した新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に広がり、私たちの足元まで迫っています。ウイルスの渦中から逃げるには、ひとり一人が『うつらない』『うつさない』の心掛けが大切です。

次の事項を即、実践しましょう。

1. コロナウイルスを甘くみない、しかし、極度に恐れない。
2. やむを得ない用事以外は出歩かない。
3. こまめに手を洗う。
4. 外出時にはマスクを着用する。
5. 部屋の換気をよくする。
6. せき、熱など感染を疑われる症状が出た場合は、次のところへ連絡する。
 - ・松阪保健所 50-0531 (9:00～21:00)
 - ・県救急医療情報センター 059-229-1199 (21:00～9:00)両方とも土・日・祝対応
7. バランスの良い食事に心掛け、睡眠を十分とり、常に体調保持に心掛ける。
8. 適度の運動や読書など、一日の目標をたて、ストレス解消に努める。



安全防災部会

編集後記

新年度が始まり、編集委員も交代しました。不慣れな中、何とか5月号をお届けします。

地域の皆様とつながり情報誌として頑張ります。ご協力の程お願いします。(T)



☆お知らせ☆

*広報委員会
5月8日(金)

10:00

*文化部会中止



「そろばん」



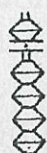
アバカス

スクール

abacus

school

めぐみ



大黒田町西林 1810-1 TEL

松阪工高グラウンド裏手 080-2610-3749

☆日本珠算連盟松阪支部会員

☆社団法人全国珠算学校連盟会員 指導 朝田 めぐみ

クスリ配達いたします！ 各病院・医院の
お気軽に御利用下さい！ 処方箋調剤いたします



なかや薬局

松阪市新町844番地 ☎(0598)21-0274

蘇民将来

文化部会

むかし、牛頭天王（こずてんのう）がお嫁さんをさがしに竜宮城へ出かけられた時のことや。歩きながら、泊めてもらうところを探しておるとな、森の中にたいそう立派な一軒の家を見つけたんや。その家に住むのはこのあたりで一番の長者、巨旦（こたん）やった。牛頭天王はさっそく、戸をたたいて頼んだそうや。

「旅のものです、疲れ果てて歩くことができません。一晩だけ泊めていただけませぬか」
巨旦は、貧しそうな身なりをした牛頭天王を見て、

「うちは貧しいから泊められへん」



「そのようなことをおっしゃらずに、一晩だけでも」と何度も頼んだにも関わらず、とうとう泊めたらへんだんや。牛頭天王は困りはて、ふるえながら今度は蘇民将来（そみんしょうらい）の家の戸をたたいた。わけを話すと、蘇民は

「それはそれは遠いところから大変やったなあ。わが家は見てのとおり汚い家やけど、よかったら泊まってってください」

と快く招き、粟（あわ）を出して親切にもてなしたそうや。

次の日、出発する前に牛頭天王は泊めてもらったお礼に、宝物の玉を蘇民に渡したんや。この玉はな、心のやさしい人が持つとお金がたまるものとされておった。

その後、牛頭天王は竜宮城に着いてお嫁さんをもらい、八人の王子のお父さんになってな、八年ぐらいたったある日、自分の生まれた国に帰ることにしたんや。

途中、また蘇民の家に泊まると、心やさしい蘇民は長者になっておった。それをうらやましく思った巨旦は、牛頭天王を家に泊めようとしたんやけど、意地悪な性格は変わらんだもんでな、逆に次々と悪いことばかりが起ったんや。

一方、蘇民はいつまでも幸せに過ごしたんやと。（二見町）



備後の国の風土記にいはく、疫隈（えのくま）の国つ社。昔、北の海にいまし武塔（むたふ）の神、南の海の神の女子をよばひに出でましに、日暮れぬ。……

年を経て八柱の子を率て還り来て詔りたまひしく、「我、奉りし報答（むくい）せむ。

汝（いまし）が子孫（うみのこ）その家にありや」と問ひ給ひき。蘇民将来答へて申ししく、「己が女子と斯の婦と侍り」と申しき。即ち詔たまひしく、「茅の輪をもちて、腰の上に着けしめよ」とのりたまひき。詔の隨（まにま）に着けしむるに、即夜（そのよ）に蘇民の女子一人を置きて、皆悉に殺し滅ぼしてき。

即ち詔りたまひしく、「吾は速須佐雄（はやすさのを）の神なり。

後の世に疾気（えやみ）あらば、汝、蘇民将来の子孫と云ひて、茅の輪を以ちて腰に着けたる人は免れなむ」と詔りたまひき。

（釈日本紀 巻の七）